

## 平成29年度 第3回大和市文化創造拠点等運営審議会 会議要旨

---

1. 日 時 平成30年1月15日(月) 午後1時30分～午後3時45分
  2. 場 所 文化創造拠点シリウス6階 610大会議室
  3. 出席状況 委 員 6名  
事 務 局 6名(文化スポーツ部長ほか5名)  
所管課職員 2名
  4. 傍 聴 人 なし
  5. 次 第
    - 1 開会
    - 2 議題 指定管理者面接審査
      - (1) 面接審査の流れについて
      - (2) 企画提案内容の説明
      - (3) 審査会
      - (4) 指定管理者候補者の決定
    - 3 その他
    - 4 閉会
  6. 会議資料
    - 大和市立中央林間図書館指定管理者候補者審査要領
    - 企画提案書作成要領・評価基準
  7. 公開・非公開の状況
    - 公開 非公開 一部非公開(※)
- ※情報公開条例第7条第3号(会議を公開することにより率直な意見交換若しくは意思決定の公平性が不当に損なわれるおそれのあるもの)及び第4号(当該事務の公正又は円滑な実施に支障を及ぼすおそれのあるもの)に該当
- 

### <会議要旨>

- 1 開会(公開)

事務局より委員の出席状況と会議の成立について報告を行った。
- 2 議題 指定管理者面接審査(公開)
  - (1) 面接審査の流れについて  
事務局より面接審査の流れ等について説明を行った。  
委員からの質疑は特になかった。

## (2) 企画提案内容の説明

応募者である「やまとみらい」によるプレゼンテーションが行われた。

### 【質疑応答】

委員：質問は次の2点。

①大和市は縦長だが、北部と南部の住民の特色をどのように考えているか。

②近くに踏切があるなど、シリウスとは環境が異なり危険な面がある。開館事業の混雑を考えると安全面をどう考えているか。

説明者：①北部は東急線で都心まで一本ということもあり、都心に通われる通勤の方も多く、昔から住んでいる方が多い南部とは異なり、新しく引っ越されてきた方及び子育て世代が多いという認識である。

②周辺地域を含めた安全面について、社内及び外部有識者による安全審査を3段階で行っている。動線含め万全の体制を整えて開館を迎えたい。

説明者：シリウスの時と同様、開館から1カ月半ぐらいは臨時の警備を配置予定。また、やまとみらい各社にも応援を要請予定。

委員：・車を運転する側としては踏切だけでも心配なのに、子どもなど人の出入りもあり心配なので、警備員を一人でも外に配置いただくと安心感が違う。

・子ども広場では砂場で遊んでそのまま入るといふこともあるので、泥の対策が必要なのでは？

説明者：外遊びのできる場所から、子どもたちが館内に汚れを持ち込むことは避けられないが、動線のある程度限定する形で最小限に抑えたい。

委員：・全体的にシリウスをそのまま持っていけばいいと思っていないか。市内外から多くの人が訪れるシリウスとは異なり、北部の人が中心の利用者となることが想定される。

・北部には北部の文化があり、地域特性を反映した運営をしていくべきだ。

・公民館、学習センター、コミュニティセンターをまとめたような施設であり、プレゼンの中で、住民を引っ張っていくような力があまり感じられないのが残念である。

・踏切はやはり危険である。安全面の対策はきちんとしてほしい。

委員：以下の3点について伺いたい。

①人員体制は、提案書によると8名で運営されるようだが、ローテーションを考えると、一日5人程度だと思われる。職員の配置はアリーナ担当、交流部分担当といった担当制にするのか、全体的に見て巡回するような形にするのか。

②親子スペースの安全管理について、シリウスの屋内こども広場と同レベルを期待されると思うが、職員が常駐するのか。不審者への対応や中高生が小さい子のスペースで遊んで暴れるといった安全管理に対して、しっかりした人員配置ができる体制なのか。

③講座の開催インターバルとして、どれぐらいの頻度を想定しているのか。どれぐらいレギュラー的なイベントを行うことをお考えなのか。

説明者：①・利用者にある程度使用責任を負っていただきたいと考えている。

・たとえばアリーナであれば弊社の方で準備できることはしておくが、それ以外の道具の持出等については、利用者ご自身でやっていただき、終わった後の片付けやモップ掛け等もやっていただきたい。また貸室に関しても、シリウス同様利用者自身で鍵をあげ、簡単な清掃、片付けを行っていただく予定である。

・職員の配置については、不審者の対応等もあり、どちらかという受付周りに人を多めに配置し、館内を巡回する形で安全面を配慮していきたい。

②親子スペースは、乳幼児の親子が遊んでいる横で小中学生が遊ぶと危険なので、職員が巡回しながら見てまわったり、利用できるエリアを年齢層で分けることも考えている。

③講座のインターバルについては、既存の学習センターで長年開催してきた事業を検討しながら、どのぐらいの頻度で行うのが適正なのかを考えていきたい。

委員：シリウスと連携していくということだが、ブックポストを館内に置いたり、シリウスから出張おはなし会を実施するといった連携は考えているのか。

説明者：・読み聞かせに限らず、様々な事業について、シリウスもしくは中央林間図書館から職員を派遣して携わらせていただきたいと考えている。

・ブックポストについては、現時点で2月以降に3か所の増設が決まっており、その次の段階の検討事項とさせていただきたい。

委員：シリウスとは、立地条件や規模等条件が異なるのに、シリウスを踏襲した独自性のない提案との印象を持った。優秀なスタッフの皆さんが知恵を出し合い、独自性を持ったサービスを展開してほしい。

説明者：シリウスの高い注目度をいかして、シリウス内で、北部文化・スポーツ・子育てセンターで開催する事業を広報し、大和市中から集まっただけのような独自性のある講座を考えていきたい。地域の方のご意見を参考にさせていただきながら、民間企業の独自性を活かした事業を行いたい。

委員：今まで林間学習センターは地域のよりどころ的な存在であり、団体と職員が協力して事業を運営してきた経緯がある。先ほど住民の方の意見を参考にしていきながらとのことだったが、具体的にどのような形で行っていく予定か。

説明者：移転前の生涯学習センターの講座を何度か受講したことがあり、かなり広範囲で、深い部分まで事業を実施されている印象を持った。林間学習センターで今まで地域の方と一体となって作られてきた、学習センター祭りなどのイベントを、今後も地域の方と共に検討していきたい。また、スタッフも近隣在住スタッフを採用していきたい。

委員：①シリウスは連携ではなく、融合を目指している。今回のプレゼンテーションでは連携という言葉ばかりで、融合という言葉は一つもなかった。融合という視点から考え、自治体を作る施設として、大和に住んでいる弱者、シリウスに来ることができない人をどのようにサポートするのか。

②利用率や来館者数よりも中身が問われる。アリーナの利用率を高めるということだが、障がい者の利用割合やパラスポーツに対してどのような対応するのか。今までの施設がやってきたことを継承するのではなくて、今まではやりたけれ

れどもできなかったことをこの施設で可能にすることで、1段だけでなく数段上げていくことになる。そういうプログラムが欲しい。

説明者：①・シリウスは複合施設のため、1つの館の中でいろいろな施設があり、それぞれの機能を融合するという意味で運営している。北部文化・スポーツ・子育てセンターは、中央林間図書館、シリウスの3つの建物を1つの建物として利用してもらえるような取り組みをしていきたい。中央林間図書館と北部文化・スポーツ・子育てセンターは距離も徒歩4分程度と非常に近いということで、ほぼ同じ施設として融合を目指していきたい。

・シリウスに来館することが出来ない方に関して、北部文化・スポーツ・子育てセンターで導入的な講座をやり、その後のステップアップとしてシリウス等でいろいろな講座を開催したいと考えている。それ以外でも、シリウスや中央林間図書館相互の見学ツアーも考えている。

②千代田区のスポーツセンターと九段生涯学習館を一体運営していることから、千代田区スポーツセンターを運営している株式会社ミズノとも協業し、足形測定事業などを展開している。今後障がい者スポーツも協業できるか検討したい。また大和スポーツセンターとも連携、協力しながら検討していきたい。

委員：新規オープン施設を運営するというのは大変なことであり、スタッフはプレッシャーやストレスがあると思う。信賞必罰、少ない人員で120%の効果を出すためには、頑張った人、良くやってくれた人を積極的に認めていただきたい。

委員：似通った古い文化的な地域に視察に行くことがあるのだが、地域特性とか自主事業、連携とかよくやっているのだから、ぜひ参考にされて、良い方向に進んでほしい。

#### 【仮採点】

質疑応答の結果を踏まえ、各委員に現時点での仮採点を記入いただき、事務局が集計を行った。

#### (3) 審査会（非公開）

- ・事務局が集計した仮採点の結果をもとに、委員によって評価が分かれた項目を中心に意見交換を行った。
- ・意見交換の結果を踏まえ、各委員に最終的な採点を記入いただき、事務局が集計を行った。
- ・最終的な採点の集計の結果、合計評価点は、最低基準点の360点に評価者数（6人）を乗じた2,160点を超えており、かつ最低基準点以上を付けた評価者の数が過半数を超えていた。

#### (4) 指定管理者候補者の決定（公開）

会長：引き続き、候補者の決定を行う。合計評価点が、最低基準点の360点に評価者数（6人）を乗じた2,160点を超えており、かつ最低基準点以上を付けた評価者の数が過半数を超えている。そこで当審議会としては、「やまとみらい」が仕様書等で示す要求水準を満たすと認め、候補者として決定したい。いかがか。

全員 : 異議なし。

3 その他（公開）

審議会の選定結果を受け、今回の結果の公表及び指定管理者の指定に向けた市側の今後の手続きについて、事務局から説明を行った。

4 閉会（公開）

以上